

Deutsch - Japanisches Symposium

Demokratie und Recht

日独法学シンポジウム

「デモクラシーと法」

日時： 2020年3月16日(月)～3月18日(水)

場所： 大阪市立大学 学術情報総合センター10階ホール

大阪市立大学大学院法学研究科

ご挨拶

《デモクラシーと法》の今日的関係を考察することが、このシンポジウムの目的です。

日本においてもドイツにおいても、デモクラシーが法の形成に構造的に関わるようになったのは、英米と比較するならば比較的最近のことです。議会制民主主義は、第二次世界大戦の惨禍を俟って初めて憲法に定められた制度として本当に定着しました。ただ、デモクラシーと法とのあいだには、古典古代以来、そもそも原理的な緊張関係がないではありません。また、冷戦の崩壊後から現在に至るまで、《ポピュリズム》という(疑問の余地のないではない)呼称によって示される現象が先進国にも次第に顕著となり、デモクラシーに対する信頼が揺らぎ、「法の支配」があたかもデモクラシーに対抗するかのようには語られることすらあります。

かくて、《デモクラシーと法》の関係を、十分に多角的にかつ具体的な問題に即して考察することは、喫緊の課題と言えるのです。

このシンポジウムは、大阪市立大学大学院法学研究科とフライブルク大学法学部との20年を超える伝統をもつ共同シンポジウムの第10回目として、以上の重要な共通問題に、正面から、取り組もうとするものです。各方面からの多くの方々のご来駕と、そして貴重な知的刺激とを、賜ることができれば、まことに幸いに存じます。

なお、本シンポジウムは、二国間交流事業セミナー(JSPS)、公益財団法人社会科学国際交流江草基金の支援によって開催することができました。ここにお礼を申し述べます。

大阪市立大学大学院法学研究科長
渡邊 賢

プログラム

3月16日(月)

開会の挨拶 (09:30~09:40)

大阪市立大学大学院法学研究科長 教授 渡邊 賢

趣旨説明 (09:40~09:50)

アレクサンダ・ブルンス (Prof. Dr. Alexander Bruns 民事
訴訟法・民法)
守矢 健一 (Prof. Dr. Kenichi Moriya ドイツ法)

第1セッション (09:50~12:20) 複雑性とデモクラシー
Komplexität und Demokratie

「民法の原則としてのデモクラシー？」

Demokratie als Prinzip des Privatrechts?

フランク・シェーファ (Prof. Dr. Frank Schäfer, 西洋法
史)

「法的観点から見たデモクラシー：オト・バホフの行政裁判
所への訴えの理論(1951)について」

Demokratie, juristisch betrachtet: Zur Theorie der
verwaltungsgewaltigen Klage von Otto Bachof (1951)

守矢 健一 (Kenichi Moriya)

「憲法におけるデモクラシーと同一性」

Demokratie und Identität im Verfassungsrecht

シリャ・フェネキィ (Prof. Dr. Silja Vöneky 国際法)

ディスカッション (11:40~12:20)

休憩 (12:20~13:20)

第2セッション (13:20~15:50) 公法

「憲法的要請としての民主的正当性：単一的か、二元的か、
それとも複元的か？」

Demokratische Legitimation als Verfassungsgebot –
monistisch, dualistisch oder pluralistisch?

マティアス・イエシュテット (Prof. Dr. Mathias
Jestaedt 国法学)

「先例の規範性：司法の正統性とデモクラシー」

Normativität der Präjudizien: Legitimität der Justiz und
Demokratie

高田 倫子 (Prof. Dr. Michiko Takata 公法学)

「行政法における専門知とデモクラシー：洪水リスクマネジ
メントを例に」

Fachliche Kenntnisse und Demokratie im
Verwaltungsrecht: Hochwasserrisikomanagement als
Beispiel

重本 達哉 (Prof. Dr. Tatsuya Shigemoto 行政法)

ディスカッション (15:10~15:50)

小休憩 (15:50~16:05)

第3セッション (16:05~17:50) 民主的刑事法学？

「デモクラシーと刑事法」

Demokratie und Strafrecht

ヴァルタ・ペロン (Prof. Dr. Dr.h.c. Walter Perron 刑事
法)

「刑事司法に対する罪」

Verbrechen gegen Strafrechtspflege

金澤 真理 (Prof. Dr. Mari Kanazawa 刑事法)

ディスカッション (17:20~17:50)

3月17日(火)

第4セッション (09:00~11:30) 私法自治と公法的制御

「反制定法的解釈」

Auslegung contra legem

坂口 甲 (Prof. Dr. Ko Sakaguchi 民法)

「民主的意見形成、デジタル化、マスメディア：危険負担問題に対応する法的枠組に係る法比較的考察」

Demokratische Meinungsbildung, Digitalisierung und Massenmedien – Rechtsvergleichende Überlegungen zu einem gefährungsadäquaten Rechtsrahmen

ボリス・パール (Prof. Dr. Boris Paal 民法)

『『プレスの公的責務』に就て』

Zur „Öffentlichen Aufgabe der Presse“

阿部 和文 (Prof. Dr. Kazufumi Abe 憲法)

ディスカッション (10:50~11:30)

小休憩 (11:30~11:45)

第5セッション (11:45~12:40) 国際私法とデモクラシー

「国際私法とデモクラシー」

Internationales Privatrecht und Demokratie

ヤン・フォン・ハイン (Dekan, Prof. Dr. Jan von Hein 国際私法)

日本法からのコメントと討論 (12:15~12:40)

国友 明彦 (Prof. Dr. Akihiko Kunitomo 国際私法)

休憩 (12:40~13:40)

第6セッション (13:40~15:25) 社会政策の民主的忌避？

「社会保障法とデモクラシー」

Sozialrecht und Demokratie

カタリーナ・フォン・コペンフェルス＝シュピース (Prof. Dr. Katharina von Koppenfels-Spies, フライブルク大学・社会保障法)

「デモクラットの憂鬱：民主主義の現状を考える」

Melancholie eines Demokraten: Zur gegenwärtigen Lage der Demokratie

野田昌吾 (Prof. Dr. Shogo Noda 大阪市立大学・欧州政治外交史)

ディスカッション (14:55~15:25)

小休憩 (15:25~15:40)

第7セッション (15:40~17:25) 労働法とデモクラシー

「労働法とデモクラシー」

Arbeitsrecht und Demokratie

セバスティアーン・クレバ (Prof. Dr. Sebastian Krebber 労働法)

「労働法とデモクラシー」

Arbeitsrecht und Demokratie

米津 孝司 (Prof. Dr. Koji Yonezu 中央大学・労働法)

ディスカッション (16 : 55～17 : 25)

3月18日 (水)

第8セッション (09 : 00～10 : 45) 会社法とデモクラシー

「会社法における少数派株主保護と多数派株主保護との緊張関係」

Das Spannungsverhältnis von Minderheits- und Mehrheitsschutz im Gesellschaftsrecht

ハンノ・メルクト (Prof. Dr. Hanno Merkt 会社法)

「日本法における株主民主主義の可能性」

Möglichkeit der Aktionärsdemokratie in Japan

高橋 英治 (Prof. Dr. Eiji Takahashi 会社法)

ディスカッション (10 : 15～10 : 45)

小休憩 (10 : 45～11 : 00)

第9セッション (11 : 00～12 : 45) 民事訴訟法における司法的
法創造とデモクラシー

「担保法における順位と法の継続形成：担保制度相互の抵触
問題」

Rangordnung und Rechtsfortbildung im
Kreditsicherungsrecht – Zur Kollision von
Kreditsicherheiten –

ヤン・フェーリクス・ホフマン (Prof. Dr. Jan Felix
Hoffmann 民事訴訟法)

「いわゆる立法事実論の行方」

Zur Tragweite der sog. „Legislative Facts“

岡成 玄太 (Prof. Genta Okanari 民事訴訟法)

ディスカッション (12 : 15～12 : 45)

休憩 (12 : 45～13 : 45)

第10セッション (13 : 45～15 : 30) 民事訴訟とデモクラシー

「デモクラシーにおける民事司法制度」

Zivilprozessuale Rechtspflege in der Demokratie

アレクサンダ・ブルンス (Prof. Dr. Alexander Bruns 民
事訴訟法)

「裁判官の法創造と民主主義：熊本水俣病第一次訴訟におけ
る水俣病研究会の役割」

Richterliche Rechtsfortbildung und Demokratie – Zur
Rolle der „Forschungsgruppe“ bei dem ersten
„Kumamoto-Minamata-Krankheit-Urteil“

鶴田 滋 (Prof. Dr. Shigeru Tsuruta 民事訴訟法)

ディスカッション (15 : 00～15 : 30)

小休憩 (15 : 30～15 : 45)

総括討論 (15 : 45～16 : 45)

閉会 (16 : 45)

お問合先：大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学大学院法学研究科

Tel 06-6605-2303 Fax 06-6605-2920

<http://www.law.osaka-cu.ac.jp/index.php>